

Faint vertical text columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.

Blank page with a rectangular border.

第九款 水利組合

○法律 明治廿三年六月廿日 第四十六號

水利組合條例

第一章

第一條 府縣稅又ハ郡費ノ支辨ニ屬セサル水利土功ニ關スル事業ニシテ其利害關係ノ區域市町村ノ區域ト符合セサルモノ又ハ符合スト雖モ二市町村以上ニ涉ルモノニシテ特別ノ事情ニヨリ市町村若クハ町村組合ノ事業トナスコトヲ得サルモノアル場合ニ於テハ此法律ニヨリ水利組合ヲ設置スルコトヲ得

第二條 水利組合ハ分テ左ノ二種トス

一 普通水利組合

二 水害豫防組合

第三條 普通水利組合ハ用應水等專ラ土地保護ニ關スル事業ノ爲メ設置スルモノトス

第四條 水害豫防組合ハ水害防禦ノ爲ニスル堤防浚渫沙防等ノ工事ニシテ普通水利組合ノ事業ニ屬セサルモノ、爲メ設置スルモノトス

第五條 水利組合ハ組合規約ヲ設ケ其組合ニ關スル重要ノ事項ヲ規定スヘシ

第六條 二府縣以上ニ涉リテ水利組合ヲ設クルノ必要アルハ此法律中府縣知事ノ職權ニ屬スル事項ハ其關係ノ府縣知事協議ノ上之ヲ處分スヘシ若シ互ニ意見ヲ異ニスルハ内務大臣ニ具狀シ指揮ヲ請フベシ

第二章 組合ノ設置及廢止

第七條 普通水利組合ハ組合事業ノ爲メ利益ヲ受ケタル土地ヲ以テ區域トシ其土地所有者ヲ以テ組合員トス但舊慣アルモノハ其舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得

第八條 普通水利組合ハ左ノ場合ニ於テ第十條乃至第十二條ノ手續ニ從ヒ之ヲ設置スルモノトス

一 組合員タルコトヲ得ル者五名以上ノ情願アリタルトキ

二 組合事業ニ關係アル土地ノ郡長又ハ市町村長ノ具狀アリタルトキ

第九條 前條ノ情願ニハ市町村長ニ於テ意見ヲ附シ町村長ハ郡長ヲ經市長ハ直ニ之ヲ府縣知事ニ差出スヘシ

第十條 第八條ノ情願又ハ具狀ニ依リ府縣知事ニ於テ公益上設置スヘキモノト認ムルトキハ假ニ組合關係ノ區域ヲ指定シ其土地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命ズベシ

第十一條 創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ關係者ノ總會ニ付スベシ關係者百人以上ニ及

フトキハ府縣知事ノ認可ヲ經テ便宜總代人ヲ選ハシメ其總會ヲ以テ總會職ニ充ルコトヲ得

前項ノ總會職ハ關係者若ハ總代人ノ全員三分ノ二以上出席スルハ議決ヲ爲スコトヲ得其議決ハ過半數ニ依ル

第十二條 創立委員ハ關係者ノ總會職ニ於テ組合規約ノ議決ヲ經タルハ府縣知事ノ認可ヲ請フヘシ

府縣知事ニ於テ前項ノ認可ヲ爲スルハ全時ニ組合設置ノ旨并其管理者タルヘキ郡長若クハ市町村長ニ告示スヘシ

第十三條 普通水利組合ハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ認可ヲ經テ之ヲ廢止スルコトヲ得此場合ニ於テ府縣知事ハ組合廢止ノ旨ヲ告示スベシ但組合ニ於テ舊民法上ノ義務ヲ負フトハ其義務ヲ完了スルカ又ハ完了ノ方法ヲ確定スル迄廢止スルコトヲ得

第十四條 水害豫防組合ハ府縣知事ニ於テ第十六條第七條ノ手續ニ從ヒ水害ヲ受クヘキ地ニ就キ區域ヲ畫シテ之ヲ設置スルモノトス但舊慣アルモノハ舊慣ニヨリ其區域ヲ畫スルコトヲ得

前項ノ區域内ニ土地家屋ヲ所有スルモノハ總テ其組合員トス

第十五條 水害ヲ受ケサル土地ト雖モ水害ヲ受ヘキ地ニ接近シ組合事業ノ爲メ直接ノ利益

ヲ受クルモノハ之ヲ組合區域内ニ編入スルコトヲ得但此場合ニ於テハ其部分ニ限リ土地所有者ノ組合員タルモノトス

第十六條 府縣知事ニ於テ水害豫防組合ノ區域ヲ書セントスルハ關係アル郡市參事會ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ區域ノ變更ヲ要スルハ亦全シ

第十七條 府縣知事ニ於テ水害豫防組合ノ區域ヲ定メタルハ其事業ニ關係アル土地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ

創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ之ヲ組合ノ總會ニ付スヘシ其他ハ第十一條及第十二條ヲ適用ス

第十八條 水害豫防組合ハ府縣知事ニ於テ組合會ノ意見ヲ聞キ之ヲ廢止スルコトヲ得此場合ニ於テ府縣知事ハ組合廢止ノ旨ヲ告示スヘシ但組合ニ於テ舊民法上ノ義務ヲ負フハ

第十三條但書ノ例ニヨル

第三章 水利組合ノ會議

第十九條 水利組合ニ組合會ヲ置ク

第二十條 組合會議員ハ其組合ニ於テ之ヲ撰舉スヘシ職員ノ數、資格、任期、及選舉ノ方法ハ組合規約ノ定ムル所ニヨル

第二十一條 組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 組合規約ヲ改正追加シ及普通水利組合區域ヲ變更スル事但其議決ハ議員三分二以上ノ全意ヲ得ルヲ要ス

二 組合費ノ豫算ヲ定メ及決算報告ヲ認定スル事

三 組合費及夫役現品ノ賦課徵收方法ヲ定ムル事

四 組合ニ屬スル財産ノ賣買、交換、讓渡、讓受、并買入書入ヲ爲スコトヲ得

五 豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲナシ及ヒ權利ノ棄却ヲ爲ス事

第二十二條 組合會ハ組合事業ニ關スル書類及ヒ計算書ヲ檢閲シ管理者ノ報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ施行并收入支出ノ正否ヲ監査スルコトヲ得

第二十三條 議員撰舉ノ効又若クハ議員ノ資格ニ關スル異議ハ組合會之ヲ議決スヘシ組合會ノ議決ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願スルコトヲ得其組合ノ區域郡市又ハ數郡ニ涉ル場合ニ於テ組合會ノ議決ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前項ニ依リ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合ノ區域ニ府縣以上ニ涉ル場合ニ於テ府縣參事會ニ訴願スル者アルハ其關係參事會ニ於テ協議ノ上主管ヲ定ムヘシ若シ協議調ハサルハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第二十四條 組合會ハ管理者ヲ以テ議長トシ管理者故障アルハ其代理者ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 組合會ハ毎年一回若クハ二回通常會ヲ開キ其他臨時ノ必要アル毎ニ臨時會ヲ開

ク但通常會ノ時期及ヒ度數ハ組合規約ノ定ムル所ニ依ル

組合會ハ管理者之ヲ招集ス若シ議員四分一以上請求アルキハ必ス之ヲ招集スヘシ
招集狀ハ急施ヲ要スル場合ヲ除ク外遅クモ會議ノ三日前ニ之ヲ發スヘシ

第廿六條 組合會ハ議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得
ス

第廿七條 組合會ノ議決ハ過半數ニ依リ之ヲ定ム可否全數ナルキハ議長ノ可否スル處ニヨ
ル

第廿八條 組合員小數ノ組合ニ於テハ組合會ヲ設ケス組合規約ノ規定ニ依リ組合員總會ヲ
以テ之レニ充ルコトヲ得

第四章 組合ノ管理

第廿九條 水利組合ハ其組合ノ區域一市町村内ニ止ルキハ其市町村長之ヲ管理シ數市町村
又ハ郡市若クハ數郡ニ涉ルキハ府縣知事ニ於テ便宜郡長又ハ市町村長ノ内一名ヲ指定シ
之ヲ管理セシムヘシ

第三十條 水利組合ノ收入及會計ノ事務ハ郡長ニ於テ管理者タル場合ハ郡ノ會計吏ヲシテ
兼掌セシメ市町村長ニシテ管理者タル場合ハ其市町村收入役ヲ兼掌セシム
組合區域數市町村ニ涉ルキハ各部町村收入役ハ管理者ノ求ニヨリ組合費ノ徴収ヲ爲スヘシ

第三十一條 管理者タル郡長又ハ市町村長ニ於テ行フ職務ニ關シ組合ノ爲メ特ニ要スル費
用ハ其組合ノ負擔トス組合ノ收入及會計ヲ兼掌スル郡會計吏又ハ市町村收入役ニ於テ行
フ職務ニ關スル費用亦全シ

第三十二條 管理者職務ノ概目左ノ如シ

- 一 組合一切ノ事務ヲ管理スル事
- 二 組合會ノ議事ヲ準備シ及ヒ其議決ヲ執行スル事若シ組合會ノ議決其權限ヲ超エ法律
命令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルキハ理由ヲ示シテ議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再
議セシメ猶其議決ヲ改メサルキハ郡參事會ノ裁決ヲ請フヘシ郡參事會ノ裁決ニ不服
アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得但權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議
決ノ執行ヲ停止セタル場合ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アルモノハ行政裁判所ニ
出訴スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其組合ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉ルキ又ハ郡長ニ於テ管理者タルキ
ハ府縣參事會ノ裁決ヲ請フヘシ府縣參事會ノ裁決ニ不服アルモノハ内務大臣ニ訴願
スルコトヲ得但權限ヲ越エ又ハ法律命令ニ背クニ依テ議決ノ執行ヲ停止シタル場合
ニ於テ府縣參事會ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

三 組合ノ權利ヲ保護シ收入金其他ノ財産ヲ管理シ歳入出豫算其他組合會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及ヒ出納ヲ監視スルコト

四 諸證書及其他書類ヲ保管スル事

五 外部ニ對シテ組合ヲ代表スル事

第三十三條 管理者ハ特ニ組合會ノ委任ヲ受ケ又ハ其議決ヲ經タル事件ニ非サレハ組合ノ爲メ契約ヲ結ビ又ハ義務ヲ負擔スヘキ證書若クハ委任狀ヲ發スルコトヲ得

第三十四條 組合ハ必要ナル委員又ハ附屬ノ備員ヲ置クコトヲ得委員ハ組合會之ヲ選任シ備員ハ管理者之ヲ任用ス

委員又ハ備員ノ爲ニ要スル費用ハ其組合ノ負擔トス

第五章 組合ノ會計

第三十五條 普通水利組合費ハ土地ニ賦課シ水害豫防組合費ハ土地及家屋ニ賦課スルモノトス但舊慣アルモノハ專ラ土地ニ賦課スルコトヲ得又第十五條ノ組合員ニ對シテハ土地ニ限リ之ヲ賦課スヘシ

第三十六條 組合費ハ組合規約中ニ豫メ連年据置ノ賦課額ヲ設ケ之ヲ徵收スルコトヲ得

第三十七條 組合費豫算額ノ剩餘ハ之ヲ積金ト爲スノ方法ヲ設ケルコトヲ得其積立并支出ノ方法ハ組合會ノ議決スル所ニ依ル

第三十八條 組合ハ其事業ノ爲メ夫役現品ヲ組合員ニ賦課スルコトヲ得但水害豫防組合ニ在テハ夫役ニ限リ其區域内ニ住居スル一般ノ人民ニ賦課スルコトヲ得

夫役現品ニ關スル規定ハ組合規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第三十九條 普通水利組合費ノ賦課額ハ組合會ノ議決ニヨリ水害豫防組合費ノ賦課額ハ府縣知事ニ於テ其關係郡市參事會ノ意見ヲ聞キ其事業ヨリ受クル利益ノ厚薄ニヨリ區域ヲ限リ其割合ニ差等ヲ設ケルコトヲ得

第四十條 組合費ノ徵收及ヒ滯納處分ハ市町村稅ノ例ニヨル

第四十一條 組合ハ天災事變ノ爲メ止ムヲ得サル支出若クハ組合永久ノ利益トナルベキ事業ニ付通常ノ歳入ヲ増加スルトキハ其組合員ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ負債ヲ起スコトヲ得

組合ニ於テ負債ヲ起スコトヲ議決スルトキハ其組合員ノ負擔ニ堪ヘサル場合ニ限リ負債ヲ起スコトヲ得

組合ニ於テ負債ヲ起スコトヲ議決スルトキハ其借入及償還ノ方法及ヒ期限并利足ノ定率ヲ定ムヘシ

年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘキ一時ノ借入金ハ前項ノ例ニ依ルノ限ニアラス但組合會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第四十二條 管理者ハ毎會計年度ノ歳入出豫算ヲ調製シ會計年度前ノ通常組合會ノ議決ニ付スヘシ

第四十三條 歳入出豫算ハ組合會ノ議決ヲ經タル後之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第四十四條 決算ハ第三十條ノ會計吏又ハ收入役ニ於テ會計年度ノ終ヨリ三ヶ月以内ニ之ヲ結了シ證書類ヲ併テ之ヲ管理者ニ提出シ管理者ハ之ヲ審査シ意見ヲ附シ之ヲ次回ノ通常組合會ノ認定ニ付スヘシ

決算報告書并之ニ關スル議決ハ管理者ヨリ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六章 水利組合ノ監督

第四十五條 水利組合ハ第一次ニ郡長第二次ニ府縣知事第三次ニ内務大臣之ヲ監督ス其郡長又ハ市長ニ於テ管理スル場合ニ於テハ第一次ニ府縣知事第二次ニ内務大臣之ヲ監督ス

第四十六條 此法律中別段ノ規定アルモノ、外管理者ノ處分ニ不服アル者ハ組合所在地ノ郡參事會ニ訴願シ郡參事會ノ裁決ニ不服アルモノハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得其組合ノ區域郡市又ハ數郡ニ涉ル場合ニ於テ管理者ノ處分ニ不服アルモノハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

前條ニヨリ府縣參事會ニ訴願シ其裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合ノ區域ニ府縣以上ニ涉ル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

組合ノ區域ニ府縣以上ニ涉ル場合ニ於テハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四十七條 賦課金納付ノ義務ニ關スル訴願ハ其徵收令書ヲ交附シタル日ヨリ三ヶ月以内ニ提出スヘシ

第四十八條 水利組合會ハ内務大臣ニ於テ之ヲ解散セシムルコトヲ得解散ヲ命スルトキハ全時ニ三ヶ月以内更ニ職員ヲ撰舉スヘキコトヲ命スヘシ

第四十九條 監督官廳ハ組合事務ノ法律命令ニ背戾セサルヤ其事業ノ公益ヲ害セサル否ヤヲ監視シ兼テ其會計事務ヲシテ錯雜セサラシムルコトヲ務ムヘシ監督官廳ハ之ヲ爲メ組合事務ノ報告ヲナサシメ并實地ニ就テ現況ヲ視察シ出納ヲ檢閲スルコトヲ得

組合ニ於テ公益ヲ害スヘキ工事を執行スルカ又ハ正當爲スヘキ工事を執行セサルカ爲メ公益ヲ害スルノ虞アルトキハ府縣知事ハ其工事を變更又ハ執行ヲ命スルコトヲ得若シ其命令ニ服從セザルトキハ府縣知事ニ於テ之ヲ執行シ其實費ヲ追徴スルコトヲ得

第五十條 組合會ニ於テ組合規約ノ改正追加及普通水利組合區域變更ノ議決ヲ爲シ又ハ不動産ノ賣却、交換、讓渡、又ハ質入書入ノ議決ヲ爲シ又ハ第三十九條ニ依リ普通水利組合費ノ賦課額ニ差等ヲ設クルノ議決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ノ認可ヲ受クベシ

組合會ニ於テ負債ヲ起スコトヲ議決シタルトキハ借入及償還ノ方法及期限并利息ノ定率ヲ合併セテ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受クベシ其他組合規約中ニ監督官廳ノ認可ヲ受

クヘキ事項ヲ増加スルコトヲ得

第五十一條 水害豫防組合關係者總會議又ハ水害豫防組合會ニ於テ其議決スヘキ事項ヲ議決セザルカ爲メ公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣參事會若クハ郡參事會ニ付シテ代テ決定セシムルコトヲ得關係者總會議ニ出席セス又ハ議員ヲ選舉セス若クハ議員ノ當選ヲ承諾セザル爲メ總會議又ハ組合會成立ニ至ラザルトキ全亦シ

水害豫防組合會ニ於テ組合事業ノ爲メ必要ナル費用ヲ否決シ又ハ議決スト雖モ必要ノ給需ヲ缺クトキハ管理者ハ府縣知事ニ具狀シ其指揮ヲ請ヒ原案ヲ執行スルコトヲ得但府縣知事ハ原案金額ヲ不相當ト認ムルトキハ原案金額以内ニ於テ適當ノ金額ヲ定メ指揮スルコトヲ得

第五十二條 水利組合關係者總會議ニ於テ議決シタル組合規約法律命令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ其理由ヲ示シ之ヲ再議セシメ猶其議決ヲ改メザルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第五十三條 監督官應ヘ出水ノ爲メ危險アルトキ水利組合ニ對シ防禦ニ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ郡長市町村長又ハ警察官ハ組合區域内ニ住居スル一般ノ人民ヲ指揮シテ防禦ニ從事セシメ及必要ナル現品ヲ収用スルコトヲ得

但現品ハ追テ組合ノ費用ヲ以テ相當ノ倍償ヲ爲サレムヘシ

第五十四條 水利組合管理者及其事務ニ服従スル者ニ對シ懲戒處分ヲ要スルトキハ町村制

第二十八條ヲ適用シ其職務ヲ盡サス又ハ權限ヲ越エタル爲メ組合ニ倍償スヘキコトアルトキハ町村制第二十九條ヲ適用ス

第七章 附則

第五十五條 府縣參事會、郡參事會、及行政裁判所ヲ開設スル迄ノ間郡參事會ノ職務ハ郡長府縣參事會ノ職務ハ郡長府縣參事會ノ職務ハ府縣知事行政裁判所ノ職務ハ從來ノ慣行ニヨリ控訴院ニ於テ之ヲ行フヘシ

第五十六條 此法律ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ組合會ノ議決スヘキ事項ハ其成立ニ至ル迄ノ間管理者ニ於テ之ヲ行フヘシ

第五十七條 此法律ニ依リ設置スル水利組合ニ於テ舊町村會又ハ水利士功會ノ事業ヲ繼續スルトキハ既成ノ工事及所屬ノ財産ハ總テ其組合ニ引繼クヘキモノトス

第五十八條 此法律ハ市町村制ヲ施行スル地方ニ於テ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シ其指揮ニ依リ之ヲ施行ス

○熊本縣令 明治廿四年五月廿七日

第二十二號

明治廿三年法律第四十六號水利組合條例內務大臣ノ指揮ニヨリ本年六月一日ヨリ施行ス
但組合設置ノ順序左ノ如シ

水害豫防組合設置

- 一 六月一日ヨリ 此間ニ於テ水利組合ノ區域ヲ書定シ創立委員ヲ命ス
- 二 七月卅一日ニ至ル 此間ニ於テ水利組合ノ區域ヲ書定シ創立委員ヲ命ス
- 三 八月一日ヨリ 此間ニ於テ創立委員ハ組合規約案ヲ編製シ組合員ノ總會議ヲ經テ知事ノ認可ヲ請フヘシ
- 四 九月卅日ニ至ル 此間ニ於テ知事ハ組合規約案ヲ調査シ之ヲ認可シ其管理者ヲ指定ス
- 五 十月一日ヨリ 此間ニ於テ知事ハ組合規約案ヲ調査シ之ヲ認可シ其管理者ヲ指定ス
- 六 十一月一日ヨリ 此間ニ於テ組合員ヲ募集シ組合會ヲ組織ス
- 七 十二月卅一日ニ至ル 此間ニ於テ組合會ハ同法第十四條第十五條ニ準據シ市制町村制施行後トシテ普通水利組合ヲ設置スルノ必要アリト思量シタルトキハ條例第八條ニヨリ其事實ヲ具申ス

○法律 明治廿二年三月廿一日 第十一號

從來開設セタル水利土功會又ハ水利土功若クハ學事ニ關スル聯合會ハ明治十七年五月第十四號布告區町村會法ニヨリ又學區會ハ同法第十四條第十五條ニ準據シ市制町村制施行後トシテ別ニ規定ヲ設クルマテ之ヲ存續スルコトヲ得

○內務書記官通牒 明治廿四年六月廿七日 縣甲第五五號熊本縣

水利組合條例ニ關スル事項ニ付左ノ通省議決定相成候間爲御心得及通牒候也
一 組合管理者ノ特ニ要スル旅費ニ對シ不當ノ議決ヲ爲シタル場合ハ水害豫防組合ニ付テハ條例第五十一條第二項ニ據ルベク普通水利組合ニ付テハ條例第三十二條第二項中公益ヲ害スルモノトシ取扱フモノトス
一 組合費ノ徵收ニ關シ手数料ヲ徵スルト否ト又其金額ヲ定ムルトハ組合ノ規約ニテ定メ其手数料ヲ徵收スル方法ハ市町村稅ノ例ニ據ルヘキモノトス
一 郡長ノ管理者タル場合ニ於テ要スル旅費ハ其官等相當ノ旅費ヲ組合費ヨリ支辨ス但創立委員タル場合ニ於テ要スル旅費ハ組合費ヨリ支辨スル限ニアラス

○熊本縣訓令 明治廿三年八月六日 第一四一號郡市役所

法律第四十六號水利組合條例公布ニ付施行上準備ノ爲メ別紙準則ニ依リ取調本年十月卅日限リ進達スヘシ

水利組合區域調查準則

第一條 水利組合條例第七條ノ規定ニ依リ區域ノ指定ヲ要スル見込アル分ハ甲號様式ニ依

七取調ヘシ

第二條 水利組合條例第十四條ノ規定ニヨリ區域ノ指定ヲ要スルモノハ實地ノ景況ニ就キ其利害關係并從來ノ慣行等詳細調査シ乙種様式ニ倣ヒ取調ヘシ

第三條 普通水利ノ事業則チ用排水等専ラ土地保護ニ關スルモノニシテ水利組合條例第七條但書及ヒ水害豫防ニ係ル事業則チ河川堤防浸砂防等ニ關スルモノニシテ同條例第十

四條但書ニ符合シ從來ノ區域變更ヲ要セサルモノハ丙丁種様式ニ倣ヒ取調其理由(例ヘ利土功ニ關スル事業ニシテ其利害關係ノ區域市町村ノ區域ト符合スルカ又ハ該條例第七條但書ニ符合シ慣例ニ依リ其區域ノ變更ヲ要セサル場合等)

第四條 海面汐受堤防ハ河川ニ準シ乙種様式ニヨリ取調メシ尤モ該堤防ニ聯帶セル水門ノ類ハ甲種様式ニヨルヘシ

第五條 右甲乙丙丁種調書ニハ各見取圖ヲ添ヘ其組合區域調査上ノ便ニ供スヘシ此様式ハ單ニ其一例ヲ示スノミ故ニ彼是參酌シテ取調ヘシ

(甲 號)

某郡某町大字何字何(某川分水又ハ某水路同上)ヨリ某郡某町大字何字何迄(流末ヲ記ス尤關シ其上流ニアルモノハ某郡市某町村)ニ至リ某郡某町村ニ入ルト記スヘシ

一用(懸)水路延長、、、、、

内

地元某郡某町

全

長、、、、、
長、、、、、

某郡某町大字何字何々等所在ノ地名及ヒ某種類ニ就キ名稱ヲ記スヘシ

一堰埭樋管溜池ノ類(種類限各別ニ長巾高等ヲ記載スヘシ尤溜池ハ堤防敷溜高長ヲモ併記スヘシ)

右 組合區域從來某郡某町外何ヶ町(又ハ某町村ノ内字某等)ヲ以テ組合區域トセシモ何ヶノ事故ニコリ今般更ニ某郡某町外何ヶ町(又ハ某町村ノ内何々)ヲ以テ組合區域トス

平均(平均年數ハ成丈)

某郡某町大字何字何ヨリ起リ某郡某町大字何字何ニ至ル(流末ヲ記スヘシ尤ニ郡市所轄ニ關シ其上流ニ在ル郡市ニ於テハ某所

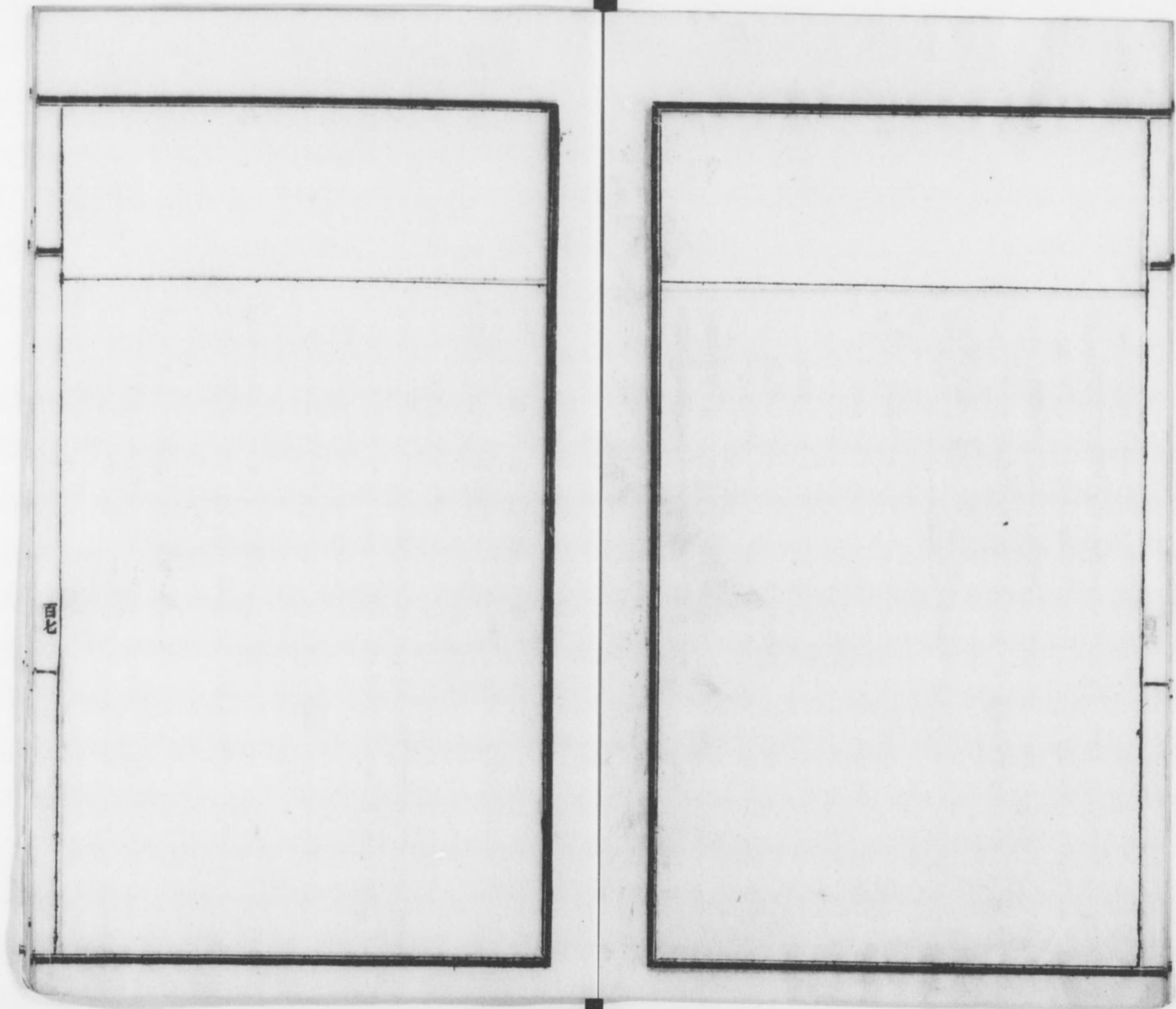
地内ニ入ルト記スヘシ)

(乙 號)

内

一何川延長、、、、、
河岸長、、、、、
堤防長、、、、、

全



頁七

頁七

第十款 報告

○内務省訓令 明治二十三年八月 第三十號

内務報告例汎則

第一條 報告例ハ警視廳北海道廳府縣廳及憲兵司令部集治監留監ニ於テ法律命令ヲ執行シ或ハ各長官權内ノ事務ヲ處分シタル事項ニ就キ緩急輕重ニ從ヒ内務ニ屬スル事項^{年報}第一項^{年報}ヲ報告スヘキ順序ヲ示ス者ナリ

但凡ソ各廳ノ經費豫算決算等ニ關スル諸報告并ニ氣象報ハ別ニ定メタル規則ニ依テス

第二條 報告ヲ別テ日報週報月報半年報年報ノ五種トス

第三條 日報ハ毎日週報ハ每週月報ハ毎月半年報ハ每半年年報ハ毎年一回報告スルモノトス

第四條 報告ハ直接使命ノ外總テ郵便ニ付スヘシ

但例目日報中第十一第十二第二十四第二十五ニシテ事重大ナル者ハ即時電信ニテ報告スヘシ

第五條 報告期限ハ從前成規アル者ト否ラザルトテ問ハス總テ本例ニ於テ指定シタル時日

マアニ發送スヘシ

第六條 報告ノ書類ハ他ノ文書ト混同セサルカ爲メ別紙縦形ノ通り一切墨線ノ罫紙ヲ用井五種ニ通用スヘシ

但表紙ハ白紙ヲ用ユルモ妨ケナシ

第七條 警察令及廳府縣令告示其他印刷シタル者ハ更ニ料紙ニ謄寫スルコ及ハズト雖モ料紙大ノ無野美濃紙一葉ニ滿タザル者ハ半葉ニスルモ妨ケナシ印刷又ハ貼付シテ進達スヘシ

第八條 報告書ハ添書ヲ要セス其記載方ハ一事件又ハ一表毎ニ紙頁ヲ改メ警察令及廳府縣令告示ト雖モ連載ス可紙末又ハ冊尾適宜ノ所ニ於テ年月日宛名ヲ記シ長官署名捺印スヘシ

但例目番號ノ肩ニ記スル文字ノ同一ナル者例ヘバ日報中ノ廳府縣處ヲ二件以上ヲ同時ニ報告スルホニ限リ纏ノテ一括トシテ改ム紙頁ハ之目錄ヲ付シ其年月日宛名長官ノ署名調印ハ目錄紙ノ末ニ於テスヘシ然ルホハ一事件又ハ一表毎ニ之ヲ爲スコ及ハス

第九條 諸圖面等ハ其事柄ニ依リ大小廣狹ノ差違アルハ勿論ナレハ豫メ一定シ纏シト雖モ成ル可ク美濃紙一葉ニ調製スルヲ要ス其縮少シ得可キ者ハ半葉ニ調製スルモ妨ケナシ

但編綴ノ爲メ四隅ニ餘白ヲ存スベシ

第十條 諸表様式ニハ横線ノミヲ示ス者ト雖モ進達ノ表ニハ縦線ヲ加フヘシ又登記スヘキ事項ナキ空欄アラバ縦線ヲ填充シテ脱漏ニ非サルヲ證スヘシ

第十一條 諸表様式ハ已ニ頒分ノ者ト雖モ執務者ノ便ヲ圖リ茲ニ彙集シテ本例ニ編入ス若シ今後命令訓令ニ依リ改正ヲ來ス可キ事アルホハ延テ本例ニ及フ者トス

第十二條 今後新クニ發スル所ノ命令訓令中ニ於テ期限ヲ定メ報告ヲ要スル旨ヲ記載シタルホハ其報告ノ種類ニ依リ此例目中ニ追加シタル者ト看做スヘシ

第十三條 數位ヲ以テ記入スル事實ニシテ前年ト比較シ著シキ増減アル者ハ其事由ヲ表尾ニ付記スヘシ

第十四條 數位ハ金員ハ原位ニ量數ハ合位ニ坪數ハ才位ニ段別ハ歩位ニ止メ一位ニ「、」ヲ付傍ヘ圓石坪等ノ文字ヲ記載スヘシ

但表尾ニ特ニ數位ヲ示セル者ハ此限コアラズ

第十五條 本例目ニ掲載セサル者内訓ハ之ヲ除クハ總テ報告ニ及ハス但異例又ハ重要ノ事項ハ此限ニ在ラズ

内務報告例目

週報

第十三 國庫ノ補助ニ係ル河川港灣工事竣功 二十一年十月訓令第二十號第二表

第十四 國縣道新設變更工事竣功 全上 第三 表

第三十七 國縣道道幅取擴工事竣功 第二十六表 十九年三月省令第一號三月三十一日

第三十八 土木工費總計表 第二十七表 十九年二月甲第二號達九月二十日

第三十九 水害表 第二十八表 十五年九月乙第四十九號達三月卅一日

（Faint text describing the content of the tables, including details about road expansion and water damage statistics.)

何 報

Table with multiple vertical columns, likely for data entry or reporting. The columns are mostly empty.

汎則第六條ニ據クル五種ニ適用スヘキ體形

報 週 表 二 第

何年月日許可 何年月日竣工	工事類別	何制凌 々水渠
國庫ノ補助ニ係ル某川筋(又ハ某運河)至何郡村長何里間 (又ハ某港)改修(又ハ新築變更)工事竣工	箇	
	所長又ハ坪	
	摘	
	要	

應 名

諸表式及印刷物ニ付テノ書法モ右ニ準シ紙末適宜ノ所ニ記載スヘシ
從前届又ハ報告等區々ノ文字ヲ用井來リシモノアリト雖モ自今總テ本紙ノ文例ニヨルヘシ

右及報告候也	明治何年何月何日	長官々氏	名印
内務大臣宛			

一、官有財産ノ増減異動明治廿四年度分ヨリ別紙様式ニ據リ取調報告スベシ
 但明治廿三年八月更定内務報告例第六十二表以下地理ニ關スル諸様式ハ削除ス尤モ官
 有地及土石動植物ノ二十四年一月ヨリ全年三月マテニ増減異動セシ分ハ該様式ニ據リ
 取調報告スベク其二十四年度ニ屬スル分ハ本様式ニ準シ年度經メニ取調來ル五月三十
 一日迄ニ報告スベシ

官有財産ノ種類	所在地	面積	明治廿三年		明治廿四年		明治廿五年	
			面積	備考	面積	備考	面積	備考
官有地								
官有動植物								
官有石								
官有土								
官有砂								
官有石炭								
官有煤								
官有鐵								
官有銅								
官有鉛								
官有錫								
官有銀								
官有金								
官有鹽								
官有硫磺								
官有石油								
官有煤油								
官有酒								
官有糖								
官有紙								
官有布								
官有綿								
官有絲								
官有麻								
官有木								
官有竹								
官有草								
官有花								
官有果								
官有蔬菜								
官有魚								
官有鳥								
官有獸								
官有昆蟲								
官有植物								
官有動物								
官有無機物								
官有機物								

○内務省訓第二〇七號 明治廿五年三月十七日 熊本縣

官有財産ノ増減異動明治廿四年度分ヨリ別紙様式ニ據リ取調報告スベシ

但明治廿三年八月更定内務報告例第六十二表以下地理ニ關スル諸様式ハ削除ス尤モ官
 有地及土石動植物ノ二十四年一月ヨリ全年三月マテニ増減異動セシ分ハ該様式ニ據リ
 取調報告スベク其二十四年度ニ屬スル分ハ本様式ニ準シ年度經メニ取調來ル五月三十
 一日迄ニ報告スベシ

右訓令ス

○内務書記官通牒 明治二十五年四月廿二日 鹿甲第四八號熊本縣

今般訓第三〇二號ヲ以テ立竹木處分ノ儀訓令相成候ニ付テハ土地ノ付屬物トシ賣拂フタル
 分ハ本年訓第二〇七號訓令報告様式中官有地増減表中減ノ部賣拂ノ表反別(坪)ノ欄ヘ反別
 ト竹木ノ數量トテ並書シ若シ伐採スベキ目的ヲ以テ動産トシ賣拂フタル分ハ同様式中官有
 地ノ土石動植物賣拂表中植物ノ部ニ記載相成可然此段及通牒候也

○内務省 明治廿五年八月五日 訓第五一一號

明治廿三年(八月)内務省訓令第三十號内務報告例中第二十七令廿八ノ二表別表ノ通改正ス

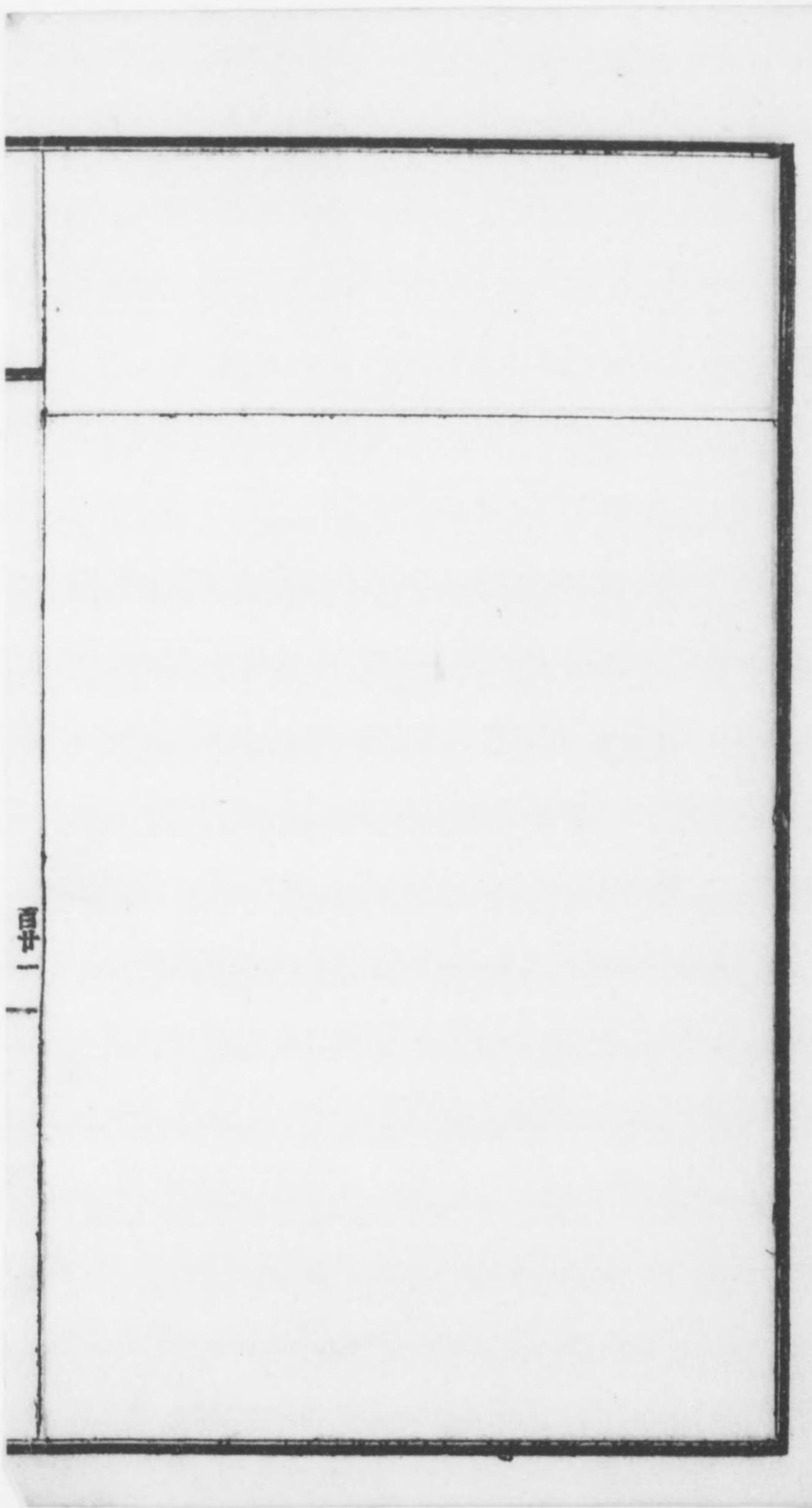
要 提	損 耗	船舶流失沈没		雜 種	波 止 場 破 損	橋 梁		道 路 毀 損
		西 洋 形	日 本 形			毀 損 全	流 失 箇 所	
	代 價	風 帆 船	蒸 氣 船	五 十 石 以 下	五 十 石 以 上	延 長		延 長
	通 計							

河川ノ水害ハ一流域毎ニ一表ヲ製スヘシ
 但海嘯ノ損害ハ別表ニ製スヘシ
 損失價格ハ見積リ價格ヲ記スヘシ
 道路堤防橋梁等ノ如キハ再築費ヲ記入スヘシ
 員數ノ欄ニ建物ハ(軒)段別ハ(町)延長ハ(間)ヲ一位ニ定メ船舶ハ艘數ヲ掲クヘシ
 家畜ノ内見積リ代價ヲ得難キモノハ本表ニ記入ニ及バズ
 畑田ノ流亡、年季荒ハ雜種地ノ部其他ノ欄ニ通算記入スヘシ
 開及種ノ破損ハ用器水路破損ノ欄ニ通算記入スヘシ
 提要ノ欄ニ第一ニ洪水ノ月日第二ニ損害ヲ來セシ幹川名并支派川名第三ニ罹害ノ郡市名并町村大字
 ノ數第四ニ被害ノ景況ヲ記載スヘシ

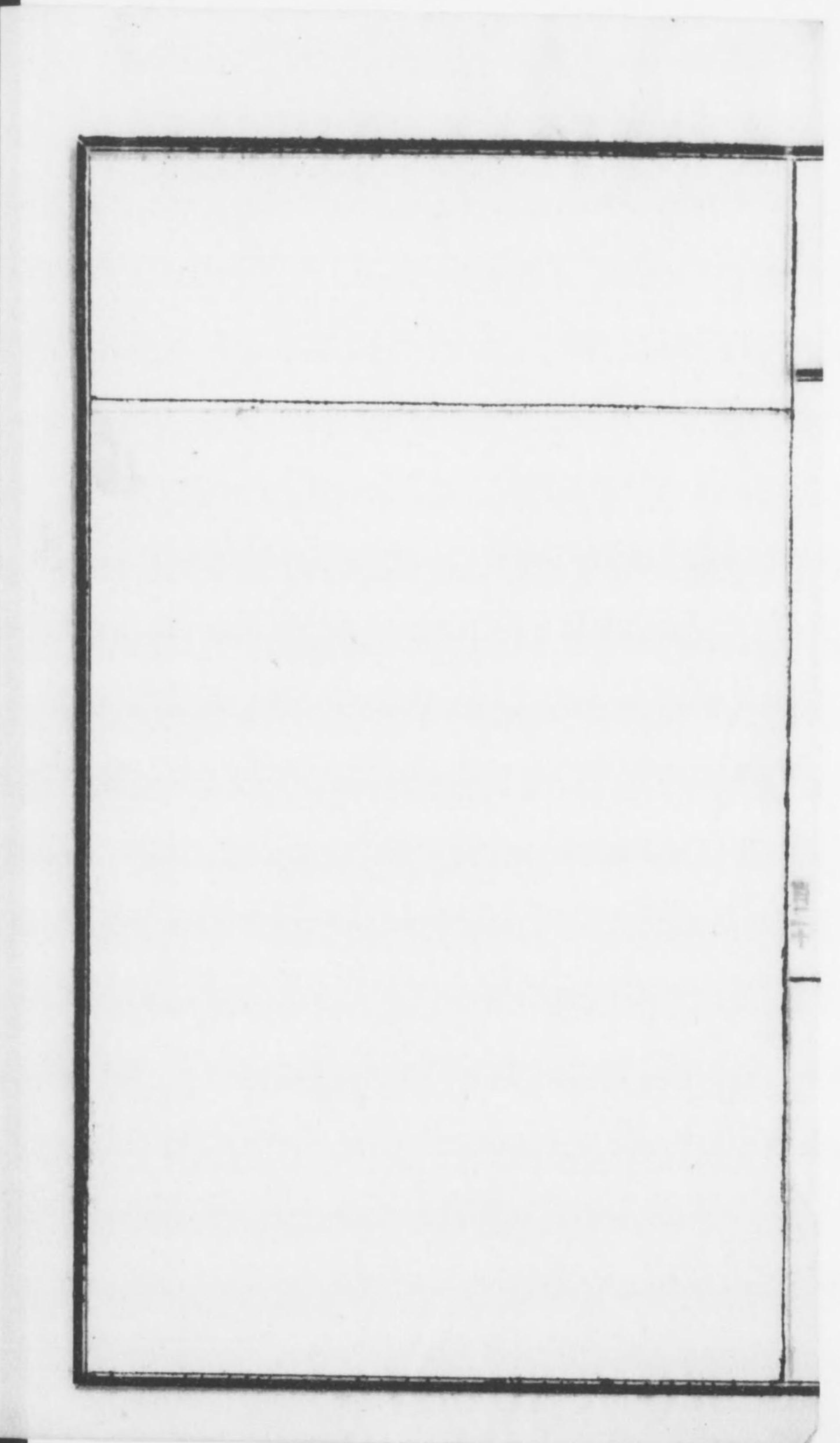
○熊本縣訓令 明治廿五年九月十六日 第一八五號

各郡市役所

明治廿五年六月訓令第一三三號土木總計表ノ義別表ノ通改正ス
 但明治廿四年分ヨリ本表ニ準シ毎年十月三十一日限進達スヘシ



頁一



頁一

第十一欸

官有土地水面其他處分ニ關スル委任

○内務省訓令第十四號

明治廿四年七月廿四日
北海道廳 府縣

第一條 官有土地水面ニ關スル處分ノ内左ニ掲クルモノハ之ヲ委任ス但處分ノ後内務報告例ニヨリ報告スヘシ

一 官有堤塘道路並木敷港灣河川溝渠溜池用悪水路等ノ新設修繕ニ際シ官有土地水面ヲ其敷地ニ充用スル事

二 北海道ニ於テ警察署郡區役所戶長役場及ヒ官立學校病院等ノ敷地ニ官有土地ヲ充用スル事

三 直接公用ニ供シタル官有土地水面ヲ相當ノ料金ヲ徴シ季節ヲ限リ一時ノ使用ヲ許シ並從前既ニ許可シタルモノ、繼續用使ヲ許ス事

四 明治廿三年七月敕令第三百三十五號官有地特別處分規則第二條ニ依リ官有土地水面ノ使用ヲ許ス事

五 直接公用ニ供セサル五町歩以下ノ官有土地水面ヲ相當ノ料金ヲ徴シ貸付スル事

六 府縣ニ於テ五町歩以下ノ官有土地ヲ明治廿三年十一月十一日敕令第二百七拾六号官有地取扱規則第七條ニヨリ貸付スル事

- 七 直接公用ニ供セサル官有土地水面市街ニ在テハ百五十坪以下村落ニ在テハ三段歩以下ノ箇所ヲ賣拂フ事
- 八 府縣ニ於テ豫約代價ヲ以テ開墾既成ノ土地ヲ賣拂フ事
- 九 明治廿三年七月敕令第三百二十五號官有地特別規則第三條并全年月十一 敕令第二百七十五號官有財產管理規則第十二條及第十三條ニ依リ一段歩以下ノ官有土地水面ヲ讓與スル事
- 十 明治廿三年十月當省訓令第三十六號ニ依リ直接公用ニ供シタル官有水面一町歩以下ヲ埋立ル事并全上ノ訓令ニヨリ埋立成功ノ後其土地ヲ處分スル事
- 十一 官有土地水面ニ屬スル土石砂利並水利ノ生産物ヲ賣拂フ事
- 十二 官有土地ニ屬スル枯損障害又ハ測量ニ支障アル竹木ヲ伐採シ及處分スル事并盜伐誤伐ニ係ル竹木處分ノ事
- 十三 天災事變ニ際シ公益ノ爲メ必要已ムコトヲ得サル場合ニ於テ官有土地ニ屬スル竹木ヲ伐採シ及ヒ處分スル事
- 十四 各廳ノ所用ニ供スルモノヲ除クノ外民有土地ノ寄付ヲ受納シ並民有土地ノ上地ヲ許可スル事
- 十五 前各項ノ處分其他官廳ノ處分又ハ形質ノ變更所用ノ廢改等ニ基キ官有土地水面ノ

種目ヲ變換スル事但皇宮地又ハ各廳ノ所在地ニ關スルハ此限ニアラズ

第二條 前條ノ官有土地水面ニシテ當省直轄又ハ流域兩管轄以上ニ跨ル河川及國道港灣河口ニ關係アルモノハ先ツ土木監督署ニ協議シテ本大臣ニ稟議スヘシ

官國弊社延喜式內國史現在神社境内ニ關係アルモノモ亦本大臣ニ稟議スヘシ

第三條 明治八年五月當省達乙第六十五號第一項及第二項并全十二年六月當省達乙第二十九號全十七年二月當省乙第十號ハ之ヲ廢止ス

○内務省訓令第六五八號 明治廿四年七月廿五日 熊本縣

明治十九年六月當省訓令第四〇九號 全年七月當省訓令第五一〇號全廿年三月當省訓令第二七〇號 全年五月當省訓令 訓第四三三號 全二十二年九月當省訓令第六四一號中土地水面ノ處分ニ關スル委任ノ條項ハ總テ廢止ス

右訓令ス

參看 訓第四三三號以下當省訓令マテ十七字ハ内務書記官ノ通知ニヨリ追加セラレタルモノナリ

○内務省訓令第六八七號 明治廿四年八月七日 熊本縣

今般訓令第拾四號ヲ以テ官有土地水面ニ關スル處分委任候ニ付テハ左ノ條々ニ注意シ不都合ナキ様處置セラルヘシ

一 凡ソ官有土地水面ノ處分ヲ爲サントスルハ出願者ノ有無ニ係ラズ先ツ地元及關係市町村其他利害ヲ感スヘキ人民ノ苦情ノ有無ヲ調査シ殊ニ直接公用ニ供シタル土地水面ニシテ關係市町村會(市町村會ヲ開設セサル地ニ在テハ其市町村ヲ代表スルモノ)ノ意見ヲ聽クノ必要アリト認メタルトキハ之ニ諮問シ後日ノ紛議ヲ醸サ、ル機至當ノ措置ニ出テントヲ要ス

二 訓令第十四號ニハ官有土地水面ノ處分ヲ爲スニ當リ依據スヘキ法律命令ノ條項ヲ一々暴示セサルヲ以テ其處分ヲ爲スノ際特ニ注意シテ法律命令ノ適用ニ錯誤ナカラシメントヲ要ス

三 官有土地水面ヲ處分セントスルハ他日官廳ニ於テ其土地水面ヲ要スルトナキヤ又其使用ヲ許シ又ハ之ヲ貸付シ貸渡スルハ某々ノ事業ノ爲メ某々ノ不便ヲ生スルコトナキヤ等現時ハ勿論將來ノ利害ヲ考モ究シタル後之ヲ處分セヨトヲ要ス

四 各所ニ點在スル少畝歩ノ土地ハ之ヲ保有スレハ徒ニ手數ヲ要スルノミナシテ之ヲ民有ニ歸スレハ反テ國ノ利益タルヘキモノ少シト爲サス是等ハ志願者アリニ隨ヒ漸次之ヲ

賣渡スヲ良シトス

五 從來官有土地水面ノ使用料貸付料又ハ賣渡代價等民間ノ料額價格ニ比シ動モスレハ低下ニ過クルノ嫌アリ自今其額ヲ評定セシムルニ當リ務メテ至當ノ價格ヲ得セシメシムトナ期スヘク殊ニ甲地ト乙地ト價格懸隔シ爲メニ公平ナラザルカ如キ感情ヲ生セシムルナカラゾトヲ要ス

六 官有土地水面ノ處分ニ關シ人民ト契約ヲ爲ストキハ法律命令ノ條項ニ據リ其他一切ノ事情ヲ參酌シ必要ト認メタル條件ヲ契約書ニ記載シ地方長官之ニ署名スヘシ

七 官有土地水面ノ處分ニ關スル命令書又ハ契約書ニハ圖面ヲ添フヘシ

八 訓令第十四號ニハ地方稅經濟ニ屬スル官有地ニ關スル委任ヲ載セスト雖モ府縣制ヲ施行セサル地方ニ於テハ舊ニ仍リ地方廳ニ於テ之ヲ處分スヘキト勿論トス

○内務省令第八號 明治廿四年七月廿四日 府縣(沖繩縣ヲ除ク)

明治十九年三月當省令第一號中第五項ヨリ第十四項ニ至ルマテ並第二十項及第二十一項ヲ削除ス

○内務省令第一號 明治十九年三月十二日

自今左ニ掲ル條件ハ稟請ヲ要セス處分シテ後報告スヘシ但報告期限ハ別ニ之ヲ定ム

參看

(明治二十四年七月内務省令第八號ヲ以テ第五項ヨリ第十四項ニ至ルマテ並第
二十項及第二十一項ヲ削除(△印)ス

- 一 恤教規則心得第八條一家數人救助ノ事
- 一 國縣道幅取擴ノ事
- 一 社寺由緒アル地所建物處分ノ事
- 一 社寺創立再興等建設延期ノ事
- 一 地租改正以前ヨリ人民ノ埋葬シ來リタル官有墓地ヲ民有墓地ニ組替ル事
- 一 耕宅地ニ非サル民有地ヲ斃牛馬捨場ニ撰定シ及ヒ之ヲ廢スル事
- 一 廢合神社跡地ヲ明治八年乙第百拾三號達ニ準シ處分スル事
- 一 民設ノ用惡水路堤塘溜池井溝ヲ官有地ニ組替並ニ明治九年乙第八十一號全十六年乙第四十五號達ニ依リ代地ヲ下渡ス事
- 一 官有市街地ヲ明治十三年太政官第六號達ニヨリ公立學校公立中學校專門學校敷地ニ附與スル事
- 一 人民ノ願ニヨリ土地建物ノ寄附ヲ許可シ其土地ヲ官有ニ組替ル事

△一 官有ノ湖沼地等埋立ノ事

但工事ノ一町歩以上ニ涉ルモノハ此限ニアラス

△一 素地相當代價ノ既定セル開墾地ヲ拂下ル事

但河川ノ寄洲川沿ニ係ル地所ハ此限ニアラス

△一 土石砂利ヲ掘取及拂下ル事

但修路治水ニ害アルヘキモノハ此限ニアラス

△一 地方稅ノ經濟ニ於テ土地建物ヲ買上及拂下ル事

阿片製造鑑札下付ノ事

阿片賣買特許藥舖鑑札下付ノ事

劇藥配伍ノ賣藥許否ノ事

避病院開設ノ事

檢疫委員設置ノ事

△一 養魚其他殖産ノ爲メ官有池沼ヲ貸渡ス事

△一 社寺境内一時貸下ノ事

一 府縣官舎ノ内官宅警察署郡區役所等建築ノ事

○內務省達乙第六十五號 明治八年五月廿三日

從前官有地ニ生産スル動植物拂下ノ儀ハ當省ヘ伺ノ上處分致來候中ニハ年々季節ヲ追ヒ一時生産ノモノ有之右等其都度伺テ候而ハ自然收得ノ季節ヲ失ヒ候儀モ有之候間自今左ノ種類處分ノ儀ハ府縣廳ヘ委任候條直ニ入札拂取計ヒ代納方手續ノ儀ハ本年當省乙第二十一號達ニ照準可取計此旨相達候事

參看 明治四年七月內務省訓令第十四號
ヲ以テ第一項第二項ヲ廢(△印)ス

種類

- △一 官有ノ池沼ニ生スル魚鱉並水草蓮根ノ類
 - △一 官有地ニ生スル樅實又ハ茶桑葉ノ類
 - 一 官林ニ生スル松茸松露又ハ倒木枯枝ノ類
 - 一 官藪ノ晚筍或ハ竹皮ノ類
- 右之外地方ニヨリ前條ニ類似ノモノ有之一時拂下差支無之モノハ豫メ其種類申出許可請置候儀ト可相心得事

○大藏省達乙第三十七號 明治十二年十月十日

耕宅地ニアラサル民有地ヲ共葬墓地ニ撰定候分地租蠲除ノ儀自今委任候條事由ヲ具シ其時

々可届出此旨相達候事

○大藏省達乙第拾七號 明治十三年四月十三日

民有地ヲ買上官有地トシ或ハ道路堤塘河川敷トナスニ際シ地租組替方內務省許可ノ分ハ爾後該地ニ對スル地租蠲除ノ儀委任候條處分ノ後事由ヲ詳記シ其時々可届出此旨相達候事

○內務省達乙第八號 明治十三年三月十一日

本年第六號ヲ以テ公達相成候公立學校設置ノ地所下與候義更ニ其府縣ニ委任候條府縣限處分ノ後當省ヘ可届出此旨相達候事
但市街地及ヒ森林ハ此限ニアラス

○大藏省達乙第四十一號 明治十二年十一月七日

民有地ニシテ公衆ノ爲メ用惡水路及ヒ溜池井溝等ノ興起ヲ許可候分ハ其敷地ニ係ル地租減除ノ儀委任候條事由ヲ具シ其時々可届出此旨相達候事

○農商務省訓令第十號 明治廿四年三月十九日 北海道廳府縣

自今左記ノ條件稟請ヲ要セス處分後報告スヘシ

- 一 官有山林原野ノ枯木倒木危險木障害木處分ノ件
- 二 官有山林原野中測量ニ支障ノ立竹木伐採ノ件
- 三 官有山林原野ニ於テ季節アル產物賣却ノ件
但五ヶ年以上ノ年期賣渡ハ此限ニアラズ
- 四 官有山林原野ヲ官林ヘ編入ノ件
- 五 官有山林原野地種目組替ニ付地上立竹木賣却ノ件
- 六 官有山林原野ヘ公益ノ爲メ竹木獻植ノ件
- 七 非常ノ際治水ノ爲メ官有山林原野ノ立竹木處分ノ件
- 八 官有山林原野ニ於テ鑛業上必要ナル地所貸渡ノ件
但五ヶ年以上ノ年期貸渡ハ此ノ限ニアラズ
- 九 官有山林原野一區域段別五町歩以下ニシテ一箇年借受料金五拾圓以下ノ土地貸渡ノ件
但數區域ニシテ五町歩ヲ超過スルモ又ハ五ヶ年以上ノ年期貸渡ハ此限ニアラズ
- 十 從來ノ慣行ニ由リ官有山林原野國土保安ニ關シテニ於テ代金五拾圓以下ノ土石賣却ノ件

但五ヶ年以上ノ年期賣渡ハ此限ニアラス

- 十一 官有山林原野ニ於テ墓地火葬場汚穢物埋却場及斃牛馬捨場新設又ハ取廣メノ爲段別一町歩以下賣却ノ件
但其地上立竹木賣渡代金五拾圓以上ナルモハ此限ニアラス
- 十二 官有山林原野一段歩以内ニシテ賣渡代金拾圓以下ノ箇所民有地又ハ河川道路等ニ介在セルモノノ接續地主ヘ賣却ノ件
- 十三 試掘並ニ借區廢業願届ノ件
- 十四 鑛山借區稅息納者鑛業禁止ノ件
- 十五 試掘期限經過ノ者指令書並ニ借區期限經過ノ者抗區券引揚ノ件
但以上十三項乃至十五項ノ場合ニ於テハ報告ノ際該證券若クハ指令書ヲ添附スヘシ
- 十六 試掘借區廢業期限經過若クハ禁止後鑛業跡取締ノ件
- 十七 砂鐵ノ爐稼願許可ノ件
- 十八 砂金砂錫砂鐵採取人及爐稼人相續加除名並讓受渡願許可ノ件

○内務省訓令訓第六四一號 明治廿二年九月十六日 熊本縣

左ニ掲クル條件ハ自今稟請ヲ要セス處分シテ後報告スヘシ
右訓令ス

參看 廿四年七月廿五日訓令第六五八號ヲ以テ官有土地水面ニ關スル
〔委任ノ條項ハ總テ之ヲ廢止(△印)ス〕

△一民有地ノ川欠浪欠ニ係リ起返ノ見込ナキモノ及無權利ノ故ヲ以テ上地ヲ顯出ツルモノ
ヲ許可スル事

△一明治十二年當省乙第二十九號達第八項但書ノ場合ニ於テ民有用惡水路溜池敷井溝敷地
興廢處分ノ事

但本省直轄河川及流域兩管轄以上ニ跨ル河川ニ關係ヲ有スルモノハ此限ニアラス

△一民有耕宅地ヲ共葬墓地火葬場馬捨場ニ遷定シ及之ヲ廢スル事

△一地租改正ノ際誤テ耕宅地ニ編入シタル民有墓地ヲ分裂スル事

一官國弊社并延喜式内國史現在神社ヲ除ク外社寺境内摸樣替ノ事

但社寺ニ於テ別段由緒アルモノ及風致ヲ損スルモノハ摸樣替ヲ爲スコトヲ得ス

○内務省訓令第四十號 明治二十年七月九日 府縣

地方稅經濟ニ屬スル樹木拂下ノ義ハ自今其應限リ處分シ翌年二月二十日ヲ發送期限トシ當

省へ報告スヘシ

○内務書記官通牒地甲第一八號 明治二十年八月十八日 熊本縣

本年七月九日訓令第四十號ヲ以テ地方稅經濟ニ屬スル樹木拂下ノ義御委任相成候處右ハ全
ク地方稅經濟ニ屬スルモノニ限リ只其維持費ヲ地方稅ヨリ支出スルノモノニテ其所有ノ普通
官有ニ屬スルモノハ(例ヘハ道路ノ並木堤上樹ノ木ノ類)固ヨリ含蓄セサル儀ニ付爲念此段
及御通知候也

○内務省訓令訓第八五八號 明治廿四年九月廿九日 熊本縣

本大臣ヨリ委任シタル事項ヲ其所部ノ郡市長ニ分任シ取扱ハシムルノ必要アルルハ本大臣
ニ具申シ許可ヲ受ケララルヘシ
右訓令ス

○熊本縣令第三十四號 明治十九年十二月十七日

地方官制ニ依リ郡區長ニ分任シ便宜施行シテ後報告スル事項別紙ノ通相定ム
施行シテ後報告スル事項左ノ通

- 第一 地方稅備荒儲蓄金不納者處分ノ事
- 第二 徵兵取調ノ事
- 第三 逃亡死亡絶家ノ財産處分ノ事
- 第四 官有地(官林ヲ除ク)ノ倒木枯木ヲ賣却シ及ヒ右ニ係ル收納事務ノ事
- 第五 電信道路田畑水理ニ障礙アル官有樹木(官林ヲ除ク)ヲ伐採シ及ヒ右ニ係ル收納事務ノ事
- 第六 但民有地ノ社寺境内ノ樹木竹ニシテ障礙アル分モ本文ニ準ス
- 第六 河岸地借地檢査ノ事
- 第七 學校資金ノ事
- 第八 地方稅支辨ニ係ル道路橋梁急破修繕ノ事
- 第九 社寺什物取締ノ事
- 第十 縣社以下並寺院境内枯損木伐採及ヒ竹木栽培ノ事
- 第十一 諸貸下金徵收處分ノ事
- 内務省特ニ分任スル條件左ノ通
- 第一 士族平民籍ニ編入願ノ事
- 第二 廢嫡願ノ事

- 第三 失踪者ノ家名ヲ相續シ若クハ失
- 第四 失踪ノ妻子又ハ入夫ヲ離縁スル願ノ事
- 第五 戸主離縁願ノ事
- 第六 絶家廢家再興願ノ事
- 第七 有子ノ寡婦入夫願ノ事
- 第八 改名復姓願ノ事
- 第九 縣社以下例祭日改正並年期祭及寺院年期法會又ハ人家ニ於テ説教願ノ事
- 第十 縣社以下並寺院等ニ於テ旱澇疫疾等臨時祭事執行ノ事
- 第十一 郷社以下詞官掌進退ノ事
- 第十二 備荒儲蓄金ノ給與及貸與ノ事
- 第十三 土地家屋ヲ除外郡區役所ニ屬スル不用物品拂下處分ノ事
- 第十四 捕魚採藻ノ爲メ海面並河川湖沼等借用願ニヨリ實地檢査ノ事
- 第十五 内國難破船取扱ノ事
- 第十六 日本形船舶積石檢査ノ事
- 第十七 抗業人身代調ノ事
- 第十八 諸市場興廢願ノ事

第十九 船燈監査發火信號器檢印願ノ事

但二十年(三月)縣令第五號船燈發火信號器監査規則第三條以下ハ本文ノ限ニアラス

第二十 鑛山稅息納者證券引揚ノ事

第二十一 山林原野ニアラザル官有第三種地ノ借地檢査ノ事

第二十二 社寺境内一時貸渡ノ事

第二十三 官有地(官林ヲ除ク)盜伐誤伐ノ竹木ヲ賣却シ及ヒ右ニ係ル收納事務ノ事

第二十四 官設年月ノ明ナル地所ヲ公賣又ハ貸下及ヒ右ニ係ル收納事務ノ事

第二十五 官有借地内ノ建物ヲ書入質證書ニ與書加印ノ事

第二十六 自費及協力ニテ橋梁渡舟ノ新設及位置變更等願ノ事

但明治十九年(三月)甲第廿六號布達第五條第一項ヨリ第三項ニ係ルモノハ此限

ニアラス

第二十七 小學校授業生進退ノ事

第二十八 小學校及小學簡易科教場臨時休業ノ事

第二十九 區町村立學校長及教員監督ノ事

第三十 豫備兵後備兵旅費下渡ノ事

第卅一 窮民救助米及棄兒養育米下渡ノ事(市長ハ分任ノ限ニアラス)

第卅二 地租代米納及預ケ米願ノ事

第卅三 諸營業願及鑑札下渡ノ事

但國稅ニ關スル分ハ之ヲ除ク

第卅四 免稅船車烙印ノ事

第卅五 鑛山借區稅領收証檢印及ヒ別符仕離ノ事

第卅六 水車場建設願ヲ許否スル事

但明治廿一年(八月)縣令第四十七号ニ掲クル各河川ニ係ルモノハ此限ニアラス

第卅七 賣藥營業免許人ニ鑑札下付ノ事

第卅八 尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員及ヒ小學校教員授業生學力試驗手数料收

納事務ノ事

第卅九 小學校授業生免許狀授與手数料收納事務ノ事

第四十 地方稅ニ關スル徵稅令書ヲ町村若クハ納稅人ニ發スル事

○內務書記官通牒縣丙第九號

明治十九年九月三十日
熊本縣

本年當省第五一〇號訓令第八項第拾非常水害防禦ノ爲メ三等官林伐採ノ事ハ大林區署既設

ノ地方ニ於テハ固ヨリ全署ノ所轄ニ屬スヘキ儀ニ付全署設置ノ地方ハ郡區長職務外ニ有之候條爲念此段及御通牒候也

○内務省訓令坤第一〇八號 明治十七年二月十六日 熊本縣

府縣官職制府縣ノ事務主務省ニ稟請シテ後處分スヘキ條款第十二項中河港道路橋梁堤防ノ工事左ニ條列スルモノハ他管ニ關涉スルモノト相心得其都度當省ヘ稟伺ノ上處分スヘシ此旨特示候也

- 一 流域兩管轄以上ニ跨ル河身ニ關スル各種ノ改良工ノ事
- 二 流域兩管轄以上ニ跨ル河川ノ堤防新築及變更ノ事
- 三 流域兩管轄以上ニ跨ル河川ヨリ運河ヲ開鑿シ用水ヲ引キ又ハ其水量ヲ増減スル事
- 四 仮定國道及ヒ縣道ノ新設及變換ノ事
- 五 仮定國縣道ニ架スヘキ橋梁新築ノ事
- 六 港(開港場若クハ其利害)新營及ヒ變更ノ事
數管轄ニ係ル樞要港

○内務書記官通牒坤土第一一五號 明治十七年二月十九日 熊本縣

府縣會職制府縣ノ事務主務省ヘ稟請シテ後處分スヘキ條款第十二項中之義ニ付本月十六日

付内務卿ヨリ訓示相成候處右條項ニ係ル要旨別紙説明ノ通ニ候條此段爲御心得及御通牒候也

- 一 流域兩管轄以上ニ跨ル河身ニ關スル各種ノ改良工事
本項改良工事トハ河身ヲ付換ヘ或ハ新タニ水制ヲ構造シ或ハ河身若クハ河岸ニ在ル岩石ヲ碎除シ又ハ河中ヲ廣ムル等都テ現形ニ拘ラス新タニ施行スルモノヨシテ是等ノ工事ハ流心ノ位置及ヒ水勢ノ疾徐ニ變動ヲ來タスカ故ニ往々甲縣ニ利アルモ乙縣ニ危害ヲ與フルノ虞アレバナリ
- 二 流域兩管轄以上ニ跨ル河川ノ堤防新築及變更ノ事
本項ヲ要スルモノハ堤防工事ト雖モ其新築若シハ現在ノ位置ヲ變更(現形修繕)スル等ハ河身ニ關係ヲ及ホシ從テ生スル利害少小ナラサルヲ以テナリ
- 三 流域兩管轄以上ニ跨ル河川ヨリ運河ヲ開鑿シ用水ヲ引キ又ハ其水量ヲ増減スル事
本項諸工事ハ渾テ本川水量ノ増減ニ關シ從テ運輸上ニ利害ヲ及ホスカ故ニ廣ク全川ノ水量及ヒ航路ノ水深ヲ量リテ其利害ヲ審カニスルヲ要スレハナリ
- 四 假定國道及縣道新設及變換ノ事

本項新設トハ新ニ港津ノ設アルカ或ハ新タニ名區ノ開ケタルカ爲メニ特ニ國縣道ニ相當スヘキ新路ヲ設クル場合其變換トハ在來道幅ノ一部ニ就キ其屈曲ヲ直線ニシ或ハ道巾ヲ廣ムル等ノ類蓋シ國縣道ハ交通上ノ關係極メテ大ナルカ故ニ必スヤ之ヲ中央ニ統轄シ其全局面ニ就キ平衡ノ處理ヲ施スヲ要スレハナリ

五 假定國縣道ニ架スヘキ橋梁新營ノ事

本項ハ大要前項ニ全シ

六 港開港場若クハ其利害數管轄ニ關スル樞要ノ港(新築及變更ノ事)

本項港ハ廣ク海運ノ用ヲ達スルモニシテ海路ノ宿驛ト謂フモ可ナリ殊ニ本邦ノ如キ環海ノ地ニアツテハ其ノ用甚大ニシテ就中稍要衝ニ位スル港ニ至テハ其關係ノ及ブ處殆ント限画スヘカラス故ニ是等ハ廣ク地方ノ盛衰運輸品ノ多寡及ヒ戰時ノ關係等ヲ量リテ處置スルヲ要スレハナリ

○土木局通牒第五百〇三號

明治十七年十月七日
熊本縣

本年二月十六日付府縣會職制第十二項ノ義ニ付訓示相成候内第二項第五項ヲ除ク外ハ豫テ太政官ヨリ本省ヘ達ニヨリ工事ノ細大ニ不拘渾テ其時々陸軍省ヘ協議取計候義ニ有之依テ從來右河港道路ノ改修又ハ變換等御稟申ノ節ハ當局ニ於テ一々圖面騰寫ノ上該省ヘ差廻居

候處右ニテハ往々繁雜ヲ生シ自然御指令迂延ヲ免レ難ク候條爾後圖面ニ通テ製シ總テ新舊ノ延長幅員共必ス圖中へ御記載御差出相成候様致度此段申送候也
追テ目論見帳並潰地地種類別表及舊道存廢御申出ノ義ハ從前ノ通ト御承知有之度爲念申添置候也

○土木局通牒第三百二十七號

明治十七年三月十三日
熊本縣

府縣官職制主務省ニ稟請シテ後處分スヘキ條款第十二項中他管ニ關涉スル工事種別之義本年二月十六日土第百八號ヲ以テ内務卿ヨリ訓示相成候ニ付テハ左ノ廉々ハ取調上必要ニ付御稟請ノ都度添而御差出相成度且テ道路新築變更等ニ限リ其勾配及河川道路堤防橋梁ノ變更ニ在テハ其舊形ノ概略ヲモ併セテ書中ニ御登載相成候様致度此段及御照會候也

一 工事項目論見書

一 工事實測圖面(但實測圖無之者ハ可成詳細ナル見取圖)

○送二第二九〇三號

明治二十五年五月廿四日
熊本縣照會

府縣官職制府縣ノ事務主務省ヘ稟請ノ後處分スヘキ條款第十二項ニ就キ明治十七年坤土第一〇八號ヲ以テ訓示相成候處國道及ヒ假定縣道ニ架スヘキ橋梁ノ新營ハ右第五項ニ依リ稟

請ヲ要スルハ無論ニ候得共今爰ニ國縣道線從來ノ渡船場ニ於テ一般通行ノ便ヲ謀リ船橋ト唱ヘ敷隻ノ船ヲ連繫シテ之ヲ浮ベ其上ニ短柱ヲ植ヘ桁梁ヲ架シ敷板ヲ並メ聊カ橋梁ノ構造ニ擬スルモ満水洪流ノ時ニ際シテハ一時之ヲ撤却スルノ方法ヲ以テ設營セントスルモノアリ如斯類ハ其効用稍橋梁ニ均キモ其性質渡船ト異ナラサルモノニ付之ヲ調査シ諸般支障ナキニ於テハ別途稟請ヲ經ス本官ニ於テ許可致シ可然乎至急何分ノ御回答有之度此段及御照會候也

乙第五九號 二十五年六月二日
土木局長回答

國道及假定縣道線へ船橋新架ノ義ニ付本月廿四日付送二第二九〇三號ヲ以テ御照會ノ趣有之候處右ハ新營ノ場合ニ於テハ船橋ト雖モ經伺可相成著ト存候此段及回答候也

○內務省訓第三〇二號 明治廿五年四月廿二日
熊本縣

客年七月當省訓令第十四號ヲ以テ土地處分方委任候處該地處分ノ際其地上ニアル立竹木ハ土地ノ付屬物トシ又ハ伐採スヘキ目的ヲ以テ動産トシ賣拂フキハ經伺ヲ要セス隨意契約又ハ競賣等法規ニ依リ其應限リ處分シ內務報告例ニヨリ報告スヘシ
右訓令ス

○山林局通牒 明治廿六年四月十三日
林第二三〇六號熊本縣

無年期貸下ノ地所處分方ノ義ニ付山形縣ヨリ別紙寫之通伺出朱書之通指令相成候條爲御心得此段及御通知候也

第六三二一號 明治廿六年三月三十日山形縣伺

無年期貸下ノ地所處分方ノ儀ニ付伺

明治廿四年貴省訓令第十號縣限リ處分後報告スヘキ條件中第九項ハ全年訓令第廿五號ヲ以テ但書修正相成候處廿三年敕令第二百七十五號官有財産管理規則第十五條第二項ノ場合ハ新タニ契約ヲ爲スモノニアラサルニ付官有森林原野ノ貸付期限ハ全規則第七條ノ範圍内ニ於テ相當ノ年期ヲ定メ縣限リ處分ヲ爲シ可然乎何分ノ御指揮相成度此段相伺候也

明治廿六年四月
農商務省指令

廿六年三月第六三二一號伺無年期貸下ノ地所處分方ノ件明治廿四年當省訓令第十號委任條件ノ範圍外ニ涉ルモノハ經伺ノ上處分スヘシ

明治二十六年八月二日印刷
明治二十六年八月三日發行

印刷者

熊本縣

梅田平次郎

熊本縣熊本市上通町
四十二番地

終

